

しんねんれいはい
新年礼拝



聖書
テーマ
暗唱聖句

Ⅱコリント 5・13～19
キリストによる新創造
だれでもキリストにあるならば、
その人は新しく造られた者である。
Ⅱコリント 5・17
キリストにあって新しく造られた者として生きる。

目標

1月7日(日)

聖書
聖句

Ⅱコリント 5・13～19
だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。 17節

今年最初の日曜日です。もう一度、「明けましておめでとうございます」。新しい年、新しい帽子、新しいセーター、新しい手袋に新しい靴、新しいマフラーと、何もかも新しいものを身につけると、新しい「ワタシ」になるのかな？ では肝心の『新しい心』にはどうしたらなるの？ それは買うことはできません！ これまでの平気で罪を犯してきた心をおわびして、私の罪の代わりに十字架で死んでくださったイエス様を心にお迎えすると、新しい私の誕生です！

いの祈り 天のお父様、イエス様だけが、心を造り変えてくださり、罪を犯したくない新しい者にしてくださることを感謝します。

1月8日(月)

聖書
聖句

エペソ 2・1～6
キリスト・イエスにあって、共によみがえらせ、共に天上で座につかせて下さったのである。 6節

したいと思う良いことができない、したくないと思う悪いことをしてしまう、これは心が罪によって死んでいるからなのですね。あわれみ深い神様は、大きな愛をもって、ひとり子イエス様を与えてくださいました。私たちが罪をおわびすると罪をゆるしてくださって、罪から救ってくださり、イエス様と共に生きる心と力をくださいます。今、よみがえって天におられるイエス様と同じように、私の心もよみがえらせて、天にいるような心で生きていけるのです。

いの祈り 天のお父様、罪と欲の思いの中で死んでいた私さえも、イエス様を信じて救われ、きよく生きられることを信じます。

1月9日(火)

聖書
聖句

エペソ 2・7～10
わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。10節

作品をつくるのが大好きな人がいるでしょう？ 上手に作れる人と……うーんむずかしい、という人がいます。「実は、私たちひとりひとは神の作品ですよ」とパウロが言うのです。神様が私を「神の作品」として造ってくださったなんて！「へえ、私って、神様の作品なんだ」と考えてみてください。そうです。良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られた最高傑作なのです。イエス様を信じてはじめて良い行いができるのです。

いの祈り 天のお父様、私も、良い行いをするようにイエス様にあって造られた、最高傑作と知ってうれしくなります。

1月10日（水）

聖書
聖句

エペソ 4・17～24

眞の義と聖とをそなえた神にかたどって造られた新しき人を着るべきである。 24節

水遊びや雪遊びでぬれてしまった服とか、ころんで汚れてしまった服とかは、すぐに脱いで、きれいな服に着替えますよね。実は、心も着替えがいののです。むなしい心とか、硬い心とか、がんこな心とか、欲深い心とか、こういう心をもつ人を「古い人」と言うのです。その古い人を「えいっ！」と脱ぎ捨てます。イエス様の十字架を仰いでね。そして、「イエス様の心」を「私の心」として生きる決心をします。それが、「新しい人」を着ることなのです。

いの
祈り

天のお父様、ほんとうに心の底から、きよく新しく造りかえてくださるのは、イエス様だけだとわかりました。

1月11日（木）

聖書
聖句

I テサロニケ 5・16～18

いつも喜んでいなさい。 16節

仮装行列って楽しいですね。ナースの服を着たり、ウエイトレスの姿になったりすると、何となく、その気になってしまいます。でもそれは外側だけです。イエス様のみわざは心の内側からなのです。神様のかたちに、もう一度新しく造られた人、「新しい人」の姿を見ましょう。それは「キリスト・イエスにあって」のみでできることなのです。その人は、いつも喜んでいて人です。い・つ・も・ですよ！どんな時でもです。そんな人があなたのまわりにいるかな？あなたにも、そうなってほしいです。

いの
祈り

天のお父様、いつも喜んでいてということ一つだけ考えても、その人は本当に「新しい人」としか言いようがありません。

1月12日（金）

聖書
聖句

I テサロニケ 5・16～18

絶えず祈りなさい。 17節

新しい人とは、「いつもお祈りをしている人」、「やめることなくお祈りをしている人」だ、ということです。お祈りは、「神様、私にはどうしていいかわかりません。教えてください。私には何の力もありません。どうぞ力を与えてください。助けてください」という心のあらわれです。古い人は、何でも自分の思うまま勝手にやって、罪ばかり犯してきました。新しい人はいつも何でもお祈りをして、神様の心になるようにしていく人です。

いの
祈り

天のお父様、あなたに喜ばれ、あなたの心が行われるために、もっともっとお祈りする者になりたいです。

1月13日（土）

聖書
聖句

I テサロニケ 5・16～18

すべての事について、感謝しなさい。 18節

カニがぶつぶつ泡を吹くように、よくぶつぶつ不平を言ったり、文句ばかり言う子どもはいませんか？自分もいやになるし、まわりの人もいい迷惑なのです。それは古い人の姿。しかし、新しい人とは、「すべての事について、感謝」する人なのです。す・べ・て・の・ことですよ！「えーっ!? そんなこと、本当にできるのかな？」と思いますか？神様はいつも私のために絶対に良いことだけをしてくださると信じていればできます。そして、人に対しても心から感謝できるようになるのです。

いの
祈り

天のお父様、「ありがとう！」の一言が、いつも新しい人の心からあふれてくる言葉なのだとわかりました。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 16・13～20
キリストへの信仰告白
あなたこそ、生ける神の子キリストです。 マタイ 16・16

目標

イエス・キリストへの正しい信仰を告白する者となる。

1月14日(日)

聖書
聖句

マタイ 16・13～20
あなたこそ、生ける神の子キリストです。 16節

「わたしはだれでしょう？」と、イエス様の質問です。「人々はわたしのことをだれと言っているのか」と弟子たちに尋ねました。彼らの口からいろんな答えが返ってきます。「バプテスマのヨハネ」、「エリヤ」、「エレミヤ」、「預言者のひとり」。イエス様は次に弟子たちの方を見つめて、「では、あなたがたはわたしをだれと言いか」と尋ねると、シモン・ペテロが答えます。「あなたこそ、生ける神の子、キリストです」と。「正解！」イエス様は満足されました。

いのちの祈り

天のお父様、ペテロのように、私も「イエス様こそ生ける神の子、キリストです」と、心より信じて告白します。

1月15日(月)

聖書
聖句

マタイ 16・13
イエスがピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は人の子をだれと言っているか」。 13節

イスラエルに詳しい人から聞きました、「ピリポ・カイザリヤはね、川がはじまる所で、ちょうど水が分かれる所にあるんだ。その場所でイエス様は大切な質問をしたんだよ」と。つまり、最初は同じ場所であっても、そこから、正反対に水が流れていくと、行き着く先は大きく違ってしまいます。イエス様は立派な預言者ですか？人間ですか？それとも神ですか？私たちは、イエス様を「生ける神の子、救い主」と信じて、救いの道を歩みましょう。

いのちの祈り

天のお父様、とても大切な信仰の告白「イエス様は神の子、救い主」と信じ告白させてくださり、感謝しています。

1月16日(火)

聖書
聖句

マタイ 16・14～16
それでは、あなたがたはわたしをだれと言いか。 15節

バプテスマのヨハネと言えば、イエス様より半年お兄さんで、イエス様のために道を備えた「人間」でした。エリヤは大いなる奇跡の数々を行い、偶像崇拝者と大胆に対決した預言者、つまり「人間」でした。エレミヤも涙の預言者、他の預言者たちもみんな「人間」でした。どんなに神様に用いられてもね。そこでイエス様は、弟子たちに、また今日、あなたにも尋ねられますよ。ペテロと一緒に「あなたこそ、生ける神の子キリストです」と、告白しましょう。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様は他のどんな人間とも違う「神の子キリストです」とハッキリと信じ、告白します。

1月17日（水）

聖書
聖句

マタイ 16・15～16

シモン・ペテロが答えて言った、
「あなたこそ、生ける神の子キリス
トです」。
16節

さすがペテロさん！バッチリ、100%正解の
答えでした。イエス様は、きっと内心ドキドキ
だったことでしょうね。まちがってはいけませ
ん。神様は生きておられます。その御子イエス
様も、十字架にかかられましたが、三日目によ
みがえられて、生きておられます。いつもわた
しと共に歩いていてくださいます。そして「キ
リスト」、「油注がれたメシヤ」、「救い主」な
のです。ですから、わたしたちを罪から救って
くださるとともに、毎日、救い続けてくださる
のです。

いの
祈り 天のお父様、今は私たちの目には見えま
せんが、イエス様が毎日共におられる、生
きておられる救い主と信じます。

1月18日（木）

聖書
聖句

マタイ 16・17

あなたにこの事をあらわしたのは、
血肉ではなく、天にいますわたしの父
である。
17節

100%正解の答えをしたペテロさんに、イエス
様は言われました。「バルヨナ・シモン、あなたは
恵まれた、さいわいな人だよ。あなたにこの
大切な 100%正解の答えをあらわしてくださっ
たのは、どんな人でもない。また、あなた自身か
ら出たものでもない、実は、天におられるわた
しの父なる神様が教えてくださったことによ
う」と。ちょっと得意顔だったペテロさんもそ
う言われて、「そうだ、そうだよな」って、うな
ずいて父なる神様に心から感謝したのでした。

いの
祈り 天のお父様、あなたはいつも私たちの心
を開いて、大切なことを教えてくださいま
すから本当に感謝です。

1月19日（金）

聖書
聖句

マタイ 16・18

わたしはこの岩の上にわたしの教
会を建てよう。
18節

イエス様はつづいて大切なことをシモンに
言われています。「あなたはペテロ(岩)だよ。
そして、わたしはあなたが告白した信仰という
岩の上に、わたしの教会を建てよう」と。イ
エス様の教会の土台は「この岩」です。つま
り、「イエス様は生ける神の子キリストです」
という信仰の告白なのですね。そう信じてバプ
テスマを受ける人たちの集まり、それが教会
です。その教会には黄泉の力も打ち勝つこと
はできないのです。何と心強いことでしょう
か！

いの
祈り 天のお父様、イエス様を「生ける神の子キ
リスト」と信じ告白する教会がいかに強
いものかよくわかりました。

1月20日（土）

聖書
聖句

マタイ 16・19

わたしは、あなたに天国のかぎを授
けよう。
19節

かぎの中のかぎ！それが「天国のかぎ」でしょ
う。イエス様を「生ける神の子キリストです」
と信じ告白する人は、天国のかぎが与えられ、
やがて、天国に入れてもらえるのですね。それ
ばかりでなく、今も天国のかぎを自由に使って、
天国の祝福をふり注いでもらうことができる
のです。それが「お祈り」という天国のかぎで
す。あなたはよくお祈りをする子どもですか？
お祈りをすれば生きておられる神様ですから、
必ずこたえてもらえるのです。

いの
祈り 天のお父様、すばらしい天国のかぎ（お祈
り）を用いて、もっともっと天の祝福を注
いでもらえますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 16・21～26

十字架を負うて

だれでもわたしについてきたい
と思うなら、自分を捨て、自分の
十字架を負うて、わたしに従っ
てきなさい。 マタイ 16・24

目標

自分に与えられた十字架を負い、
キリストに従う者となる。

1月21日(日)

聖書
聖句

マタイ 16・24

だれでもわたしについてきたいと
思うなら、自分を捨て、自分の十字架
を負うて、わたしに従ってきなさい。
24節

今日のお言葉は、イエス様を信じること、
従って生きることってなんだろう？どうする
ことだろう？って考えさせてくれるよね。

でもイエス様はね、あなたが苦しい人生を生
きるようにすすめてるんじゃないんだ。あなた
が神様のために今できることをしてほしい、そ
れがあなたにとっての十字架だよと、教えてく
ださってるんだよ。

今週一週間、「あなたの十字架」を探して
みてください。

祈り

天のお父様、わたしがあなたのために今
できることをはっきり見つけられます
ように。

1月22日(月)

聖書
聖句

マタイ 16・21

多くの苦しみを受け、殺され、そし
て三日目によみがえるべきことを、
弟子たちに示しはじめられた。21節

イエス様は、ご自分がなんのために人となっ
たのか、よくご存知でした。

多くの人は、有名になるため、お金持ちにな
るため、楽しむため、自分だけのために自分の
人生を使おうと考えます。

でも、イエス様はどこまでも、神様のご計画
のため、それが十字架につくことだとわかって
いても、従うことをやめたりはしませんでした。

あなたはなんのために自分の人生を使いま
すか？神様のためですか、自分のためですか？

祈り

天のお父様、わたしも、自分のためだけ
でなく、あなたに従うことをやめず、生
きていけますように。

1月23日(火)

聖書
聖句

マタイ 16・22

主よ、とんでもないことです。そん
なことがあるはずはございません。
22節

自分の考えてることや理想と、現実がち
がったとき、きつと「そんなバカな！」とだれ
もが言ってしまうよね。ペテロもそうだったみ
たい。

「信じている」と言うとき、人はきつと自分
にとって理想的ですばらしいから、と思ってい
るのです。でもそれは、自分の思いどおりに
神様を作り上げたいだけではないかな？

神様のご計画が正しいのか、自分のほうが
神様よりも正しいのか、自分の心の中をたし
かめてみてください。

祈り

天のお父様、自分の思い通りになること
ばかり求めるわたしをおゆるしくださ
い。

1月24日（水）



マタイ 16・23

あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。 23節

きっとペテロは、自分は正しいと思っていたでしょう。でも、イエス様は「それは神様の思いではなく、人の思いだ」と言ったのです。

ところで、「正しい」という言葉は「一」と「止」とにわけることができますね。

本当に正しいかどうか、自分は本当に神様に喜ばれることをしているのだろうか？と一度、立ち止まって、お祈りしてみてください。聖書にはどう書いてあるだろうか、神様はどう思うだろうか、と考えることで、あなたの人生に正しさが与えられると思うよ。

いの

祈り 天のお父様、正しく生きるために、一度立ち止まって、あなたのことを思うことができますように。

1月25日（木）



マタイ 16・24

だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。 24節

神様がイエス様の十字架を用意してくださらなかったら、永遠の命と天国はなかったね。命をなげだしても、人が受けるすべての罰を代わりに受けるとしても、人を愛し、神様を愛して従われたイエス様、ありがとう！

あなたのまわりにも、救いがひつような人、希望がなくて悲しんでいる人がいると思います。あなたは、その人たちに永遠の希望をとどけることができるチャンスを、イエス様からもらっていることを忘れないでくださいね。

いの

祈り 天のお父様、自分の救いだけを喜ぶのでなく、まわりの人にも喜びをとどけられますように。

1月26日（金）



マタイ 16・25

自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。 25節

人はみんな、毎日なにかをえらびながら生きています。えらんでえらんで、その答えがつか重くなって、一つの人生になっていくのです。

なんの問題もないように見える人生にも、「永遠」という神様からの目で見たととき、大きな問題がかくれていることがあります。あなたはどんな人生を生きたいですか？

自分のために生き天国に行かない人生、神様のために生きて天国に行く人生、どちらの喜びが大きいでしょう。人生は長くても100年くらい、でもその先には永遠があるのです。

いの

祈り 天のお父様、永遠のことを考えて一つ一つえらべますように。

1月27日（土）



マタイ 16・25

人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。 26節

どんなお金持ちも、どんな有名人も、どんな人からほめられるすばらしい人も、神様の前に立てばみんな同じ人です。

天国は、すばらしい人のための天国ではありません。天国行きのチケットを持った人が行くところなのです。

それは、人生の中で、イエス様と出会い、知り、イエス様を「わたしの救い主です」と信じた人に与えられるものです。

持ち物や行いではなく、信仰によるのです。

いの

祈り 天のお父様、どんなことをしたかより、どう信じているかのたいせつさを教えてください、ありがとうございます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 17・1～8

山上での変貌

これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。これに聞け。 マタイ 17・5
栄光の主キリストを覚え、御声に聞きつつ従う者となる。

目標

1月28日（日）

聖書
聖句

マタイ 17・1

イエスはペテロ、ヤコブ、ヤコブの兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。 1節

皆さんは、山に登ったことがありますか？ 聖書をよ～く読むとわかるんですが、イエス様はたくさん山に登っておられるんです。お祈りするときや大切なことがあるとき、イエス様は山に出かけました。

今回はイエス様は高い山に登られるようですよ。おともするのはペテロ、ヤコブ、ヨハネの3人だけ。「自分たちだけが選ばれた！」と3人はきっとルンルン気分だったでしょう。神様からの大切なメッセージがあるにちがいありません。もう、ドキドキ！

いのちの祈り

天のお父様、わたしも神様のメッセージをドキドキ楽しみに聞きます。わたしの心を開いてください。

1月29日（月）

聖書
聖句

マタイ 17・1～2

彼らの目の前でイエスの姿が変わり、その顔は日のように輝き、その衣は光のように白くなった。 2節

高い山に登ったイエス様と弟子たち。イエス様はなにをするのかな？ と弟子たちが考えていたら、なんと、弟子たちの目の前でイエス様の顔と着ている服が光りだしたのです！ パーッキラキラキラッ！！ 太陽のように光りかがやくイエス様！ 見ていた弟子たちは、あまりのおどろきに、ことばもでません。

イエス様になにがおきたの？ と思いますね！ でも、このお姿こそ、神の子イエス様の本当のお姿。イエス様は、ご自分が本当に神の子であることを見せてくださったのです。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様が本当に神の子であることを心から信じます。

1月30日（火）

聖書
聖句

マタイ 17・1～3

すると、見よ、モーセとエリヤが彼らに現れて、イエスと語り合っていた。 3節

かがやくイエス様だけでもおどろきなのに、さらにおどろくことが起こりました。光の中で、なんと、旧約聖書に出てくるモーセとエリヤがイエス様とお話していたのです！ なにを話していたかという、イエス様がこれから十字架にかかれることについて話していたのです（ルカ 9・31 も読んでみてね）。

イエス様は、旧約の時代から預言されていた救い主。光りかがやく神の子であられるのに、わたしたちの罪のみがわりに十字架にかかってくださったのです。

いのちの祈り

天のお父様、神の子であるイエス様が、わたしのために十字架にかかれたことを心から感謝します。

1月31日（水）



マタイ 17・1～4

主よ、わたしたちがここにいるのは、
すばらしいことです。 4節

かがやくイエス様とモーセとエリヤ。見ていたペテロはこう言いました。「イエス様、ここにわたしたちがいることはすばらしいことです！ イエス様とモーセとエリヤのために一つずつ小屋をたてましょう！」…もう、ペテロったら、なに言ってるの！ と思うけど、それほどおどろいてパニックをおこしていたのです。このことはペテロにとって、けっして忘れられないできごとになりました。

イエス様が復活されたのち、「わたしはすばらしいことを見た！」とペテロは多くの人に伝えました。ペテロが書いた第二ペテロ1章に、そのときのことがしっかり書かれていますよ。

祈り 天のお父様、わたしもペテロのようにイエス様のすばらしさを伝えていけますように。

2月1日（木）



マタイ 17・1～5

輝く雲が彼らをおおい、そして雲の中から声がした。 5節

ペテロがまだ話をしているとき、こんどは雲がモクモクとあらわれました。ただの雲じゃない、光りかがやく雲です！ 雲はイエス様とモーセ、エリヤをつつみこみました。そして、なんと雲の中から神様の声が聞こえてきたのです！ ペテロたちは恐れあまり、ブルブルふるえながらひれふし、神様の声を聞いたのでした。

わたしたちにとって、神様の声を聞くときは聖書のみことばを聞くときですね。いつもどんな姿勢で聞いているでしょう。ブルブルふるえることはなくても、いつも真剣な姿勢で！ みことばに耳をかたむけることが大切です。

祈り 天のお父様、みことばを聞くときは、いつも真剣に耳をかたむけていきます。

2月2日（金）



マタイ 17・1～6

これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。これに聞け。 5節

光りかがやく雲の中から聞こえた声は、「これはわたしの愛する子。わたしの心にかなう者である。彼の言うことを聞きなさい」というものでした。イエス様は、父なる神様が愛する神の子、父なる神様のよるこび。イエス様のこゝろに耳をかたむけ、従いなさい！ と父なる神様ご自身が言われたのです。

イエス様は、父なる神様がつかわされた救い主です。イエス様に従うことは、父なる神様がいちばん望んでおられること。わたしたちにたいする、ご命令なのです。

祈り 天のお父様、あなたがつかわされたイエス様のこゝろに聞き従います。

2月3日（土）



マタイ 17・1～8

彼らが目をあげると、イエスのほかには、だれも見えなかった。 8節

弟子たちがふるえながらひれふしていると、イエス様がポン、と手をおいてくださいました。弟子たちが目をあげると、そこには元の姿にもどられた、いつものイエス様がおられ、ほかにはだれも見えませんでした。イエス様を見あげる弟子たちのこゝろには、「彼の言うことを聞きなさい」という神様の声がひびいていました。

わたしたちのまわりは、イエス様からはなそうとする罪のゆうわくがいっぱい。だから、いつも心の目をイエス様にむけてください。あなたがイエス様のこゝろに聞き従い、神様に喜ばれる人になりますように！

祈り 天のお父様、イエス様に目をむけ、聞き従い、あなたに喜んでいただけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 18・1～5

幼な子のように

心を入れかえて幼な子のように
ならなければ、天国にはいるこ
とはできないであろう。

マタイ 18・3

目標

幼な子のようにへりくだった
心で生きる。

2月4日（日）

聖書
聖句

マタイ 18・3

心を入れかえて幼な子にな
らなければ、天国にはいることはで
きないであろう。 3節

イエス様の時代の子どもや女の人がどんな
だったか、わかりますか？

人の数を数えるとき、大人の男の人は数え
てもらえても、女の人や子どもは数えてもら
えないくらい、ちっぽけなそんざいだったんだ。

小さな、助けと守りがないと生きていけない
ような子どものこと、イエス様がどんなにか
大事にしておられたか、イエス様のおはなしを
聞くと分かるね。

イエス様の愛は、どんな小さな人にもとどい
ていることをわすれないでね。

いの
祈り

天のお父様、どんな人でも愛してくださ
るイエス様をありがとうございます！

2月5日（月）

聖書
聖句

マタイ 18・1

いったい、天国ではだれがいちばん
偉いのですか。 1節

おやおや。イエス様のお弟子さんたちが、イ
エスさまの前でケンカしてるみたい。

お弟子さんたちが気になっていたのは「天国
でだれがいちばんか」ということ。

お弟子さんたちは、イエス様ではなく、自分
が偉くなること、自分が得をすることに心が
うばわれていたのです。

この世界では、だれがいちばんかっこいいと
か、いちばん運動がでできるとか、頭がいいと
か、そんなことで偉さが決まってしまうんですね。

でも、この世界のルールと天国のルールはず
いぶんちがうことを知らなければなりません。

いの
祈り

天のお父様、天国のルールをもっと知っ
ていくことができますように。

2月6日（火）

聖書
聖句

マタイ 18・2

イエスは幼な子と呼び寄せ、彼らの
まん中に立たせて言われた。 2節

イエス様は、お弟子さんたちがケンカして、
自分のことばかり考えているのを見て、「コ
ラァー！！」と怒ったりはしませんでした。そ
う、あの子どもをお弟子さんたちのまん中に立
たせられたのです。

きっと、だれが偉いかなんて言っていたお
弟子さんたちは、子どものすがたを見てハッ！
としたでしょうね。

どんなときも、イエス様は、見えるように、
分かるように、まちがいを教え、正しい道にみ
ちびいてくれる良い先生ですね。

イエス様ってすごい！

いの
祈り

天のお父様、まちがいや正しいことをわ
かりやすく教えてくださるイエス様に
感謝します。

2月7日（水）

聖書
聖句

マタイ 18・3

心をいれかえて幼な子のように
ならなければ、天国にはいることはで
きないであろう。 3節

イエス様は、幼な子のような人こそが天国に
入るよ、と教えてくださいましたね。

この世界で偉いと思われるような人ではな
く、神様の守りと助けがないと生きていけない
ことに気づいた人が、神様から大切にされるこ
とを教えてくださいましたね。

そして、偉さをくらべあう心がだれにでも
あることを、イエス様は知っておられたんだね。

あなたの心の中はどうですか？「心をいれ
かえて！」いっしょに天国に行けるわたしたち
でようね！

いの
祈り

天のお父様、人とくらべて生きる心を
いれかえます。天国に行ける心にして
ください。

2月8日（木）

聖書
聖句

マタイ 18・4

この幼な子のように自分を低くす
る者が、天国でいちばん偉いのであ
る。 4節

どうすれば「自分を低く」できるんだろう？

どうせ自分なんか…って思うこと？いいえ！

神様が、あなたを愛して愛して、イエス様を
身代わりに十字架にかけてくださったことを
知るとき、自分の本当の姿がどんなであるか
わかるね。愛がなく、おろかで、小さい、神様
にただ救ってもらった自分のことがね。

どうか、いつもイエス様の十字架をわすれず、
感謝とよろこびをもって、神様にたよるあなた
でいてください！

いの
祈り

天のお父様、あなたがわたしを愛して、
イエス様を十字架につけられたことを
いつまでもわすれずに生きていきます
ように。

2月9日（金）

聖書
聖句

マタイ 18・5

このようなひとりの幼な子を、わた
しの名のゆえに受けいれる者は、わ
たしを受けいれるのである。 5節

自分が救われて、天国に行ける者にされたとい
うことは、とってもうれしいことです。でも、
こんなときのまちがいは「わたしは天国に行け
るけど、あの人は行けないでしょ」という
考え。本当にそれでいいですか？

イエス様が来てくださったのは、滅びる者を
救うためでした。そして、あなたが滅びないよ
うに救ってくださっただけでなく、今、罪の中
で苦しんでいる人たちを救いたいとねがって
おられるよ。

いの
祈り

天のお父様、自分が救われたことだけを
よろこぶのではなく、もっと救いが必要
な人のことも考えていきます。

2月10日（土）

聖書
聖句

マタイ 18・5

このようなひとりの幼な子を、わた
しの名のゆえに受けいれる者は、わ
たしを受けいれるのである。 5節

学校に行くと、好きな友だちだけじゃないよ
ね。いじめっ子やいじめられっ子、悪口言う子
にちょっと変わった子。そんな子たちのこと
「フン」「あっち行け」「きらい」「ムシし
よ」って思っちゃうかもしれないね。

でも、イエス様は「受け入れなさい」って言
うんだ。神様の愛、イエス様の教えてくれたこ
と、あなたがもらったたくさんの恵みを、こん
どはあなたが伝えていく番だよ。

いの
祈り

天のお父様、あなたがわたしにくださ
った愛を、どんな友だちにも同じようにあ
げられますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 19・16～26

富める青年の悲しみ

人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない。

マタイ 19・26

目標

砕かれた心でキリストを信じ、救いを受けとる者となる。

2月11日（日）

聖書
聖句

マタイ 19・26

人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない。 26節

この世界には、自分ががんばれば、なんだって手に入るし、できないことはないけど、神様はなんにもしてくれないじゃない！と考えている人がたくさんいます。だから、なんとか努力して良いものを手に入れて安心したいんだね。

でも、人にはどうやってもできないことがあるね。それは、死んだあと、天国に行くこと。

天国や永遠の命は神様のもの。けっしてお金や行いで買えるものではないよね。

そして、天国行きのこたえを知っている人は言うのです。「人にはできないけど、神様にはできるんだよ！」って。

いのちの祈り

天のお父様、あなたと出会って、イエス様を信じることできた奇跡をありがとうございます！

2月12日（月）

聖書
聖句

マタイ 19・16

永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか。

16節

この世界では、なにかしてあげたらおかえしが返ってくるものだと考えます。そして、それをそのまま神様にもあてはめて「わたしがこんなにしてるんだから、神様もよくしてよね！」と思ってしまうんだね。

でも、神様はあなたが良い子で、なんでもできる子だから愛してくださるのではないよ。どんなあなたでも、そのまま愛してくださっていることをわすれないでくださいね。

そしてあなたも、この青年のような考えを心に持っていないか、点検してみてください。

いのちの祈り

天のお父様、わたしをそのまま愛してくださることを感謝します。

2月13日（火）

聖書
聖句

マタイ 19・17

なぜよい事についてわたしに尋ねるのか。よい方はただひとりだけである。 17節

「良い」は「良い」でも、イエス様は「事」ではなく「方」に注目してほしいと思っているのに気づきましたか？

わたしたちは、なにか起きると行いや出来事だけに心をうばわれて、神様そっちのけ！

でもね、どんな良い事も、ただ自分のためにだけって考えているならさびしいものです。

ほんとうにたいせつなのは、あなたの行いではなく、あなたと神様が、どのような関係にいるかだよ。良い方を見あげてみよう！

いのちの祈り

天のお父様、行いで、ものごとの価値をきめるのではなく、あなたとの関係をたいせつにしていけますように。

2月14日（水）



マタイ 19・17～19

もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい。 17節

イエス様は、この青年に、そしてあなたに、なにを気づかせたかったんだろう？

どんなにみんながそんけいする人も、行いが正しいように見える人も、神様の前に立つとき 100%正しい人間と言えるのでしょうか？

ちがうよね、100%どころか、欠点や失敗ばかりの自分に気づくよね。そして、自力で天国に行ける人はいないとわかるはずです。

だからこそ、イエス様の言葉を聞いたとき、「そうだ、救い主イエス様の十字架が必要なんだ」と気づくんだね。イエス様の救いを信じるから、神様の前に行けるようになるんだね。

祈り 天のお父様、イエス様の言葉をたくさんおぼえて生きていきたいです。

2月15日（木）



マタイ 19・20～22

青年は悲しみながら立ち去った。たくさん資産を持っていたからである。 22節

イエス様の人生を見ると「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」ということをできと思っていた自分の愛がとても小さいものだった気づくね。イエス様は人に愛を与えつづけ、命まで捨ててくださったんだもの。

あなたが自分の愛の小ささに気づいたなら、この青年のように立ち去らないでください。

神様の前に、愛のない自分であることをみとめてイエス様に従っていくなら、あなたの心にイエス様の愛があふれて、人と神様を愛せる人生に変えられるよ！

祈り 天のお父様、わたしの心をイエス様の愛でいっぱいにしてください。

2月16日（金）



マタイ 19・23～24

富んでいる者が天国にはいるのは、むずかしいものである。 23節

神様は、ある人にはお金という祝福をそそいでくださることがあるね。でも、イエス様のこのことばを聞くと、目に見えるものには気をつけないといけないうち思うよね？

お金があることが悪いのではなく、気がつけば「神様」より「カネ様」になってしまうからだね。

たいせつなのは、神様の祝福でいただいたものだとかっていること、そして、それをだれのために、どんなふうに使っていくかだよ。もちろん、神様と人をよろこばせるために使えたら、いちばんだね！

祈り 天のお父様、自分をよろこばせるのではなく、人とあなたのために、いただいたものを使っていきますように。

2月17日（土）



マタイ 19・25

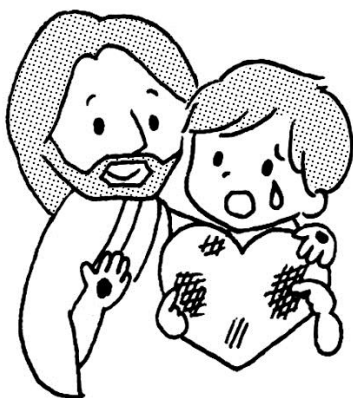
では、だれが救われることができるのだろう。 25節

きっとだれもが、自分の心の中をのぞくなら、「こんなわたしが天国にいけるのかな…」って心配になってしまうね。

そんなわたしたちでも、イエス様は救って今もいっしょに歩んでくださり、天国の道にみちびいてくださるのはなんて幸せなこと！

あなたのまわりにも、天国に行きたいけれど、わからないでいる人たちがいるでしょう。そんな人に出会ったなら、イエスがどんなにすばらしいお方か、教えてあげてね。多くの方が不可能が可能になることを体験できますように！

祈り 天のお父様、天国に行けるというしあわせを、たくさんの人と分かち合えますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 20・20～28

仕える生き方

人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである。

マタイ 20・28

目標

仕える生涯を送られた御子を覚え、仕える生き方をする。

2月18日(日)

聖書
聖句

マタイ 20・26～27

あなたがたの間で偉くなりたいと思
う者は、

26節

「偉くなりたい!」と思ったことがある人はいますか? たとえば、「グループのリーダーになりたい」「班長やりたい」「そんなこと思わないよ…」という人も、リーダーや目だつ人がいると「いいなあ」「あんなふうになればいいのに」と、うらやましくなることがあります。人間って、人の上に立ちたい! 偉くなりたい! という思いが、心のどこかにあるものなんです。

今週は、イエス様が本当のリーダーってどんな人なのか教えて下さいますよ。あなたが考えているリーダーのイメージとは、全然ちがうかもしれません。

祈り 天のお父様、本当のリーダーはどんなリーダーなのか、教えてください。

2月19日(月)

聖書
聖句

マタイ 20・20～21

ゼベダイの子らの母が、その子らと一緒にイエスのもとにきてひざまずき、何事かをお願いした。 20節

イエス様のところに、ゼベダイの子ヤコブとヨハネ、彼らのお母さんがいっしょにやってきました。お母さんは「イエス様が王様になった時、わたしの息子たちがあなたの右と左に座れますように」と言いました。つまり、「息子たちがとくべつに偉い人になれるようにしてください」とお願いしたわけです。

自分や自分の家族のことだけをとくべつにしてほしい! そう思うってしまう危険は誰にでもあります。わたしたちも心の中を点検してみましょう。

祈り 天のお父様、自分や自分の家族のことだけを考える危険からわたしを守ってください。

2月20日(火)

聖書
聖句

マタイ 20・22

あなたがたは、自分が何を求めているのか、わかっていない。 22節

お母さんをお願いをさせて、自分たちだけが偉くなりたいヤコブとヨハネ。イエス様は、「あなたがたは、お願いしていることの意味がわかっていませんよ」と言われました。さらに、「わたしが飲もうとしている杯を飲めますか?」と質問をされました。「杯」とは、イエス様が十字架にかかる苦しみのことです。彼らはその意味も考えないで、「できます!」と答えました。

ヤコブとヨハネは、自分勝手にわがままなお願いをしていることにまったく気づいていませんね。わたしたちも、神様に自分勝手なお願いばかりしていないかな…。

祈り 天のお父様、わたしが自分勝手にわがままなお願いをしないよう守ってください。

2月21日（水）



マタイ 20・23

わたしのすることではなく、わたしの父によって備えられている人々だけに許されることである。 23節

自分勝手なお願いに対してイエス様は、「それは、わたしがきめることではありません。父なる神様がきめることです」とハッキリ言われました。神様が考えて神様がきめられることですから、自分から「偉い人になってください！」とお願いするのはおかしいことです。

わたしたちは、つい、自分のお願いばかりを聞いてほしくなります。お願いするのはよいですが、最後は神様がきめることに従うこと。それがいちばん大切です。あなたにとって何がいちばん良いことか、知っているのはあなたではなく、神様。

祈り 天のお父様、あなたが決められたことに、すなおに従えるようにしてください。

2月22日（木）



マタイ 20・24～25

十人の者はこれを聞いて、このふたりの兄弟たちのことで憤慨した。 24節

ヤコブとヨハネが「とくべつに偉くなりたい！」お願いしたのを知って、ほかの十人の弟子たちはカンカン！なぜって、「自分だって偉くなりたいのに、ずるいぞ！」と置いていたからです。じつは、弟子たち全員が偉い人になりたい！と考えていたのです。

えらそうに人々に命令して、言うことを聞かせる人、…それが偉い人だ、それがリーダーだ！そんな人になりたい、と弟子たちは思っていました。でも、それはまちがった考えです。えらそうにして、言うことを聞かせたい誘惑が、これからあなたに来るかも。守られるように祈りましょう。

祈り 天のお父様、えらそうにしたい誘惑から、わたしを守ってください。

2月23日（金）



マタイ 20・26～27

あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、僕とならねばならない。 27節

イエス様は、「偉くなりたい人は、仕える人になること。リーダーになりたい人は、しもべのように人々をお世話する人になりなさい」と言われました。弟子たちは、思いもよらないイエス様の言葉にびっくり！自分たちが考えていた偉い人、リーダーとはまったく反対のことを言われたのですから。

本当のリーダーは、えらそうに命令する人ではありません。言うことを聞かせるのではなく、苦しんでいる人の話を聞いてあげる人です。お世話係のように、心をこめて人々に仕える人です。これが本当のリーダーなのです。

祈り 天のお父様、正しいリーダーがわかりました。やさしく人々に仕えることができます、本当のリーダーになれますように。

2月24日（土）



マタイ 20・20～28

人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである。 28節

本当のリーダーのすがた、それはイエス様のすがた。イエス様は神の御子なのに、人として生まれてくださいました。世界の誰よりも偉いはずのイエス様が、偉そうにするどころか、いつも貧しい人々や困っている人々に仕えておられました。そして、わたしたちのために十字架にかかって、命まで捨ててくださったのです。

イエス様こそ、わたしたちが目指すべき本当のリーダー。イエス様のように人々に仕えることができるよう、祈りましょう！

祈り 天のお父様、イエス様にならって、人々に仕える生き方ができますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 21・1～11
エルサレム入城
見よ、あなたの王がおいでになる、
柔和なおかたで、ろばに乗って。
マタイ 21・5

目標

柔和な王として来られたキリストを受け入れ、従う者となる。

2月25日(日)

聖書
聖句

マタイ 21・5
見よ、あなたの王がおいでになる、
柔和なおかたで、ろばに乗って。5節

王様のイメージってどんなだろう？強くて、えらくて、金ピカな宮殿に住んで、乗り物だって豪華な馬車で、出来ないことはひとつもない、そんな感じじゃない？

でも、イエス様の姿はぜんぜんちがったね。強くてかっこいい馬、戦争をイメージする馬でなく、平和をイメージするロバ、心優しいロバにイエス様は乗って、エルサレムの町に入っていたのです。

そしてこのことは、イエス様が生まれる何百年も前に聖書に予言されていたことでした。

いのちの祈り

天のお父様、聖書の預言の通りにイエス様が、戦いの王様でなく平和の王様となって来てくださったことを知りました。ありがとうございます。

2月26日(月)

聖書
聖句

マタイ 21・1～2
子ろばがそばにいるのを見るであらう。それを解いてわたしのところに引いてきなさい。2節

イエス様はいつも、どこになにがあって、どんな時に必要か、よく見て、心に留め、知っていてくださるなあ、と思いませんか？

たぶんそれは、神様のご計画をいつ、どんな時に、行うのかよく知っていたし、聖書の御言葉がいつもしっかりと心に留まっていたからじゃないかな。

わたしたちも、イエス様の思いや願いがしっかりと心に留まるなら、「ここだ！これだ！」とタイミングをつかんで神様の喜ばれることを行えるだろうね！

いのちの祈り

天のお父様、あなたの喜ばれることがしっかりと心に留まって、ここだというときに行えますように。

2月27日(火)

聖書
聖句

マタイ 21・3
主がお入り用なのです。3節

この言葉は、ロバの飼い主への言葉ではなく、子ろばへのメッセージなんだよ。

そして、イエス様が、小さくてまだ働くことも知らない子ろばを必要だったように、あなたもイエス様に「あなたが必要だよ」と声をかけられていることを知ってください。

あなたがどう働いたらいいのかわからなくても、イエス様はあなたをどう用いたいのか、よく知っているのです。

たいせつなのは、イエス様があなたを「必要だ」と言って選んでくださったこと。あなたの力ではなく、あなたそのものがイエス様にとってはたいせつなんだよ。

いのちの祈り

天のお父様、小さなわたしも、イエス様が必要としてくださることを感謝します。

2月28日(水)



マタイ 21・6～7

イエスはそれにお乗りになった。
7節

こんなふうになりたいなあ！というお手本になる人はいますか？

イエス様は、その生き方とおして、いつもわたしたちの良いお手本になってくださってるんだよ。

それは、今の世界の人々が考える生き方ではないかもしれない。自分の幸せのために生きる方法や、平和を守るための方法も、イエス様とはぜんぜんちがうよね。

そういう、考え方がちがう世界の中で、イエス様から目をはなさないで、平和のことや、どんな風に生きていくか、学んだり、考えたりしていきたいね。

祈り 天のお父様、イエス様の生き方から目をはなさず、いろんなことを学んでいけますように。

3月1日(木)



マタイ 21・8

多くの者は自分たちの上着を道に敷き、また、ほかの者たちは木の枝を切ってきて道に敷いた。
8節

今の時代みたいに持ち物もそんなにたくさんない時代、服を脱いでイエス様の通るところに敷くというのは、たいせつなものを捨てて従います、という意味だったみたい。

人間は勝手なもので、自分を楽にして、思う通りにしてくれそうな神様に、おじぎをするものなのです。

あなたの心の中はどうか？神様はあなたにとって、願いをきいてくれるだけの神様でしょうか。それとも、あなたに永遠の命を与え、あなたを支配できる神様でしょうか。

祈り 天のお父様、心の中を探ってください。感謝します。わたしの人生を導いてください。

3月2日(金)



マタイ 21・9

ダビデの子に、ホサナ。主の御名によってきたる者に、祝福あれ。いと高き所に、ホサナ。
9節

「ホサナ」は「わたしたちを今お救いください」という意味です。イスラエルの人の言う救いは、ローマの支配から解放されることでした。

だからイエス様が自分たちの思いどおりの王様ではないと知ると「祝福あれ！」と言っていた言葉は「十字架につける！」に代わってしまいました。その自分勝手な人たちのために、イエス様は十字架について死なれたのです。

あなたは、どんな自分を救ってほしいですか。イエス様はあなたのためにも十字架にかかってくださいました。

祈り 天のお父様、自分勝手なわたしのためにもイエス様が十字架にかかってくださったことを感謝します。

3月3日(土)



マタイ 21・10～11

町中がこぞって騒ぎ立ち、「これは、いったい、どなただろう」と言った。
10節

今でも、救いがなんなのか、神様がどなたなのか、イエス様がどんなお方なのか知らないで過ごしている人たちが日本にはたくさんいます。まちがって理解していたり、おとぎ話だと思っている人もいます。

でも、聖書の歴史は本物、イエス様の人生も、十字架も本当に起きたことなのです。

あなたのまわりにも、イエス様や教会に興味がある人はいるだろうね。先にイエス様を知って、信じている人は、どうか、本物のイエス様と救いをお話ししてあげてください。

祈り 天のお父様、教会のことやイエス様のことをお友だちにも紹介してあげるチャンスをください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 22・34～40

一番大切な戒め

心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。

マタイ 22・37

一番大切なこととして、神を愛し、隣人を愛する生き方をする。

目標

3月4日(日)

聖書
聖句

マタイ 22・34～35

そして彼らの中のひとりの律法学者が、イエスをためそうとして質問した。35節

今週は、イエス様が「いちばん大切」と言われたみことばを学びます。イエス様は多くの人々に尊敬されていましたが、それをよく思わない人たちもいました。サドカイ人たちは、イエス様を困らせようとむずかしい質問をしましたが、イエス様はみごとに答えられました。くやしさいっぱいのサドカイ人のところへ、今度はパリサイ人が、イエス様をためそうとして、またむずかしい質問してきましたよ。

あなたも神様について質問されることがあるかもしれませんね。イエス様の知恵をいただいて答えられるよう、祈りましょう。

いのちの祈り

天のお父様、神様について聞かれた時、答えることができるよう知恵を与えてください。

3月5日(月)

聖書
聖句

マタイ 22・36

先生、律法の中で、どのいましめがいちばん大切なのですか。36節

律法とは、旧約聖書に登場するモーセの律法のこと。モーセはたくさんのいましめを、神様から教えてもらいました。パリサイ人たちはさらに、そのいましめを細かくして、なんと600以上のいましめをつくりました！ その中で、どれがいちばん大切かなんて、いじわるな質問だと思いませんか？

はたして、イエス様はどれが大切だと言われるのでしょうか。わたしたちにとって、イエス様と言われることが何より大切です。何がいちばん良いのかな？とわからなくなった時、イエス様は何と言われたか、いつも聖書を聞くようにしましょう。イエス様の言葉に、注目！

いのちの祈り

天のお父様、イエス様のみことばを、何よりも大切にして聞いていきます。

3月6日(火)

聖書
聖句

マタイ 22・37

心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。37節

イエス様が「いちばん大切だ」と言われたのは、「神様を愛しなさい！」ということでした。何よりも神様を愛しなさい、心をつくし、精神をつくし、思いをつくして愛しなさい！心も身体も、あなたのぜ～んぶで神様を愛しなさい、ということです。

それは、まず神様があなたを愛してくださったから。神様があなたのことを、心をつくし、精神をつくし、思いをつくして愛してくださっていることを、しっかり受けとめましょう。神様に愛されていることがわかると、神様を愛していきたいと心から願うようになるのです。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの愛をしっかり受けとめます。わたしもあなたを心から愛していけますように。

3月7日(水)



マタイ 22・38

これがいちばん大切な、第一のいましめである。 38節

神様を愛しなさい、というのは、つまりどんなことをすればよいのでしょうか。「神様、大好きです!」とお祈りするの、ととてもすてきです。でもそれだけじゃなくて、大好きな気持ちを、ちゃんと行動にうつすことが大切です。それは、神様によろこんで従うことです! 逆に、神様に従わないことは、神様を愛していないことになってしまいます。

だから、「大好きな神様によろこんでほしいな」と思いながら、心から従うのです。それが神様を愛する、ということ。神様に従って、神様への愛をいっぱいあらわしていきたいですね。これが、いちばん大切ないましめ。

祈り 天のお父様、大好きなあなたに、心から従っていきたいです。

3月8日(木)



マタイ 22・38~39

自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。 39節

イエス様が「神様を愛しなさい」と言われた、いましめ。それは「神様を愛しなさい」だけではありませんでした。「あなたの隣り人を愛しなさい、これも同じ様に大切です」と言われたのです。

神様を愛する人は、人を心から愛するようになります。神様が愛しておられる人々を、自分を大切にするように愛していく人になります。人を愛することは、神様が何よりもよこばれるのです。だから、人を愛さないなら、神様を愛していないことになってしまいます。

神様を愛することは、人を愛すること。これはワンセットなんです。

祈り 天のお父様、自分を大切にするように、隣り人を愛することができますように。

3月9日(金)



マタイ 22・39

自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。 39節

イエス様は「隣り人を愛しなさい」と言われましたが、あなたにとって隣り人って、だれでしょうか。家族、お友だち、知っているひととか。

でも、イエス様が言われている隣り人ってそれだけじゃないんです。困っている人や、悲しんでいる人がいたら、その人も隣り人。さらに、あなたに悪口を言ったり、イヤなことをしてくる人も隣り人なのです! むしろ、自分が苦手な人こそ隣り人なんです。

そんな人を愛することができるかな。やさしく親切にできるかな…。自分の力では、もう、無理。でも神様の愛をいただいたら、必ず、心から愛せるようになります。

祈り 天のお父様、わたしの苦手な隣り人も愛せるように、あなたの愛をください。

3月10日(土)



マタイ 22・34~40

これらの二つのいましめに、律法全体と預言者とが、かかっている。 40節

聖書の中にある、たくさんのいましめ。そのいましめをまとめると、神様を愛し、人を愛しなさい、と言っているのです。つまり、神様と人とを愛することが何よりも大切なことなのです。イエス様は、いじわるなパリサイ人の質問にも見事に答えられたのです!

神様には心から従い、隣り人には心からやさしさと思いやりを。たとえ苦手な人であっても、その人のために祈る。神様と人とを愛していくなら、まわりの人に神様が伝わっていきます。あなたを見て、「神様を信じてる人ってすてきな」って思われる生きかたをしたいですね。

祈り 天のお父様、神様と人を愛して、まわりの人々にあなたのことを伝えていけますように。



聖書

マタイ 26・26～29

テーマ

契約の血

暗唱聖句

これは、罪のゆるしを得させるようにと、多くの人のために流すわたしの契約の血である。マタイ 26・28
契約の血として流されたキリストの血を覚え、罪のゆるしを受け取る。

目標

契約の血として流されたキリストの血を覚え、罪のゆるしを受け取る。

3月11日（日）

聖書
聖句

マタイ 26・28

一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福してこれをさき、 26節

今週は、イエス様が十字架にかかれる前の晩のお話です。イエス様と弟子たちは、過越の祭りのお食事をしました。イエス様はご自分からパンをとって、神様に感謝のお祈りをささげられました。

イエス様は、もうすぐご自分が十字架にかかることを知っておられました。それで、弟子たちとの最後の食事の時間を、大切に大切にすごされたのです。このお食事が、教会の聖さん式の始まり。洗礼を受けた人も、これからの人も、イエス様が聖さん式を大切にされたことを心にとめていてください。

いの祈り

天のお父様、イエス様が大切にされた聖さん式を、わたしたちも大切にしていきます。

3月12日（月）

聖書
聖句

マタイ 26・26

イエスはパンを取り、祝福してこれをさき、弟子たちに与えて言われた、「取って食べよ、これはわたしのからだである」。 26節

イエス様は一つのパンをとって、それをちぎって、弟子たちにわたしました。そして「とって食べなさい、これはわたしのからだです」と言われたのです。このパンがイエス様のからだ？ イエス様のからだは、わたしたちの罪の身がわりに十字架につけられました。一つのパンをわけたのは、イエス様のからだ、ひとりひとりのために釘づけられたからです。

聖さん式のパンは、自分の手でしっかりとってください。イエス様の十字架はわたしのため、とあなたが真剣に受けとめるためです。

いの祈り

天のお父様、イエス様の十字架はわたしのためだと真剣にうけとめて、パンをいただきます。

3月13日（火）

聖書
聖句

マタイ 26・27

また杯を取り、感謝して彼らに与えて言われた、「みな、この杯から飲め」。 27節

パンを食べたあと、イエス様はぶどう酒の入った杯の一つとりました。そして、「みんなこの杯から飲みなさい」と言われました。それぞれ自分にとって飲めばいいのに、どうして、わざわざイエス様の杯から飲むのでしょうか。

それは、イエス様の杯から飲む人たちは、みんな一つだということ。イエス様を信じる者同士、一つとなって愛し合うために、イエス様は同じ杯から飲ませたのです。みんなバラバラで自分のことだけを考えるのではなく、一つとなって愛しあうことを、イエス様は願っておられます。

いの祈り

天のお父様、イエス様を信じる者同士、一つとなって愛しあっていますように。

3月14日（水）

聖書
聖句

マタイ 26・28

これは、罪のゆるしを得させるようにと、多くの人のために流すわたしの契約の血である。 28節

イエス様の杯のぶどう酒には、さらに大切な意味がこめられています。それは、すべての人の罪がゆるされるために、イエス様が十字架で流される血、という意味です。

わたしたちがどんなに良いことをしても、罪はなくならないし、ゆるされません。わたしたちの罪がゆるされるためには、イエス様が身がわりとなって血を流すしか方法がなかったのです。聖さん式でぶどうジュースを飲むのは、十字架で血を流されたイエス様を思いだして、悔い改めと感謝をささげるためなのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様がわたしの罪の身がわりに血を流されたことを心から感謝します。わたしの罪をおゆるしてください。

3月15日（木）

聖書
聖句

マタイ 26・28

これは、罪のゆるしを得させるようにと、多くの人のために流すわたしの契約の血である。 28節

「契約」という言葉は、かんたんに言うと、だれかとだれかが真剣にお約束をすることです。「イエス様が流された血は、わたしの罪の身がわり」と信じる人は、だれでも罪をゆるしていただけます。これはイエス様があたえてくださった、新しい契約なんです！

それまでは、罪を犯すたびに動物の血を流さなければなりませんでした。信じるだけでゆるされるなんて、ものすごいイエス様のお約束。でも、このすばらしい契約を与えるために、イエス様がどれほど苦しんで血を流されたか、けっして忘れないでください。

いのちの祈り 天のお父様、新しい契約を与えるため、イエス様が血を流されたことを忘れずにあゆんでいきます。

3月16日（金）

聖書
聖句

マタイ 26・29

わたしの父の国であなたがたと共に、新しく飲むその日までは、わたしは今後決して、ぶどうの実から造ったものを飲むことをしない。 29節

イエス様は、十字架にかかれたあと、よみがえられ、天にのぼられることを知っておられました。天にのぼってそのまま？ いいえ、もう一度地上におりて来られるのです。その時、イエス様を信じる人々ぜんいんを招待して、またいっしょにお食事をするんですって！

イエス様は、その日を心から楽しみにして、その時が来るまでは、お祝いのぶどう酒はけっして飲まないよ、と言われたのです。イエス様を信じる人なら、もれなく、ぜんいんご招待！そう、あなたも招かれているんですよ。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様とのお食事を心から楽しみに、あなたを信じてあゆみます。

3月17日（土）

聖書
聖句

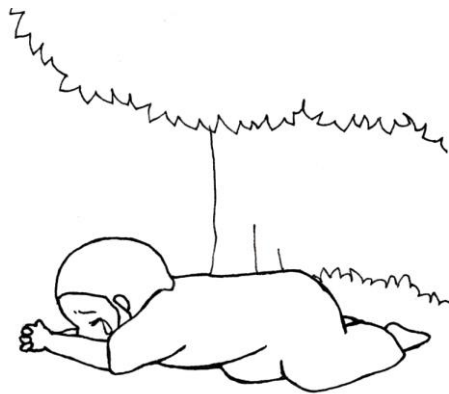
I コリント 11・24

これはあなたがたのための、わたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい。 24節

今日のみことばは、パウロが聖さん式についてのイエス様のみことばを教えている箇所です。聖さん式は、イエス様が十字架にかかれる前の晩、弟子たちとお食事がモデル。教会の聖さん式は、イエス様を中心にした食事のお交わりをしているんです。イメージがちがうかもしれないけれど、そう思うとすごく素敵なこと。十字架に釘づけられたイエス様のからだ、流された血をけっしてわすれないように、記念するために行うのです。

命まで捨てて、新しい契約を与えてくださったイエス様。そのことを心から感謝して、聖さんにあずかる人になってください。

いのちの祈り 天のお父様、新しい契約を心から感謝して、聖さん式に出たいと思います。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 26・36～46

ゲツセマネの祈り

わたしの思いのままにではなく、
みこころのままになさって下さい。

マタイ 26・39

目標

神の御心に従って十字架に進
まれたキリストを覚え、信じ、従
う者となる。

3月18日(日)

聖書
聖句

マタイ 26・36

それから、イエスは彼らと一緒に、
ゲツセマネという所へ行かれた。

36節

今週は、イエス様が十字架にかかれる
直前のお話です。イエス様は、弟子たちを
連れてゲツセマネというところに行かれました。
何をするためかという、お祈りするため。そ
こは、イエス様がお祈りするための、いつもの
場所だったのです。

イエス様は、どんな時もお祈りするかたでし
た。さらに、お祈りのためのお氣にいの場所が
あって、父なる神様とお交わりされていました。
あなたにはいつものお祈りの場所ってある？
神様とお交わりをなによりも大切にしてね！

いの祈り 天のお父様、あなたとお交わりの時間
を大切にしていきます。今週も、みこと
ばとお祈りの時間をしっかりもちます。

3月19日(月)

聖書
聖句

マタイ 26・37～38

わたしは悲しみのあまり死ぬほどで
ある。

38節

イエス様は、お祈りの中で父なる神様とお交
わりすることが大好きでした。ところが、今回
はようすがちがいます。「わたしは悲しみのあ
まり死ぬほどである」と、イエス様の悲しみが
爆発しています…！

イエス様が十字架にかかるってどういうこ
と？ ずっといっしょだった愛する弟子たちに
見すてられ、どんな時もひとつだった父なる
神様に捨てられ、全世界の人の罪の罰をかわり
に受けるのです。わたしたちには想像できない
悲しみ。イエス様は、あなたのかわりに死ぬほ
どの悲しみまで負ってくださったのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様がわたしのかわりに
死ぬほどの悲しみをおわけて、胸が痛いで
す。ほんとうに感謝します。

3月20日(火)

聖書
聖句

マタイ 26・39

わが父よ、もしできることでしたら
どうか、この杯をわたしから過ぎ去
らせてください。

39節

「この杯」というのは、イエス様が十字架に
かかれることです。もし、もし、できるなら、
十字架にかからないで、苦しみが過ぎさるよう
にしてほしい…。イエス様にとって、十字架に
かかることは、おそろしいことでした。どんな時
も父なる神様に従ってこられたイエス様です
が、正直な気持ちをお祈りされたのでした。

イエス様は、あなたの罪のみがわりになるた
め、こんなに悩み苦しんでくださいました。イ
エス様がこれほどの思いで十字架にかかれた
ことを、もっと知らなければいけません。

いの祈り 天のお父様、イエス様がこんなに苦しまれ
たのは、わたしの罪のみがわりとなるため
だったことを、心から信じます。

3月21日（水）



マタイ 26・39

しかし、わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさって下さい。 39節

イエス様は、「十字架にかかるのはイヤです。」と、言う資格のあるお方です。だって、イエス様は罪をおかしたことがない、罪と関係ない神の子なのですから。それなのに、すべての人の罪のみがわりになるなんて！

でも、イエス様は「イヤです」と言われませんでした。「わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさって下さい」。なんということでしょう、イエス様はこんな苦しみの中でも、さいごまで父なる神様のみこころに従われたのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様のように、どんなときも自分の思いよりも、あなたのみこころを大切にしていきたいです。

3月22日（木）



マタイ 26・40～41

誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい。 41節

苦しい祈りをされたイエス様が、弟子たちのところにもどられると、彼らは眠っていました。イエス様は、「わたしと一緒に目をさましていなさい」（38節）と言われていたのに、そのとおりにできませんでした。イエス様が苦しんでいるあいだ、弟子たちはグウグウ寝てしまっていたのです。イエス様は「誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい」と言われました。

ちょっとゆだんすると、すぐにイエス様のことばから離れやすい、わたしたちです。そんなゆうわくから守られる方法は、いつもお祈りすることだとわかりますね。

いの祈り 天のお父様、イエス様のことばから離れないために、いつもお祈りすることができすように。

3月23日（金）



マタイ 26・42～46

見よ、時が迫った。人の子は罪人らの手に渡されるのだ。 45節

イエス様は、またもどって、「みこころが行われますように」と祈られました。しかし、弟子たちはまた、眠りこけていました。イエス様は、弟子たちをそのままにして、また祈りに行かれました。弟子たちはイエス様とともに祈りませんでした。イエス様はひとりぼっちで、なんども祈り、苦しみをのりこえて「時が迫った！」と十字架にかかる決心をされたのです。

あなたは苦しい、悲しい経験をしたことがありますか？ 想像できないほどの苦しみをのりこえられたイエス様だけが、あなたの苦しみをわかってくださいます。

いの祈り 天のお父様、わたしが苦しいとき、いちばんわかってくださるイエス様を感謝します。

3月24日（土）



マタイ 26・36～46

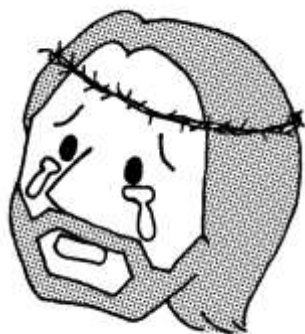
わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさって下さい。39節

「みこころのままになさって下さい」。イエス様がこのように祈って、十字架にかかる決心をしてくださらなかったら、わたしたちが罪がゆるされることも、天国に行くこともできませんでした。ただすなおに、イエス様の十字架に感謝しましょう。

こんどは、わたしたちがイエス様に従う番です。いろいろなお願いはあるけれど、さいごに「みこころのままになさって下さい」と祈ってみましょう。イエス様が、あなたのお願いより、もっとすごいことをしてくださるのを見ますよ！

いの祈り 天のお父様、イエス様のおすがたを思いながら、あなたのみこころをいちばんに求めて、従っていきます。

しゅろのひ
棕櫚の日



せいしよ
聖書
てーま
暗唱聖句

マタイ 27・45～56

十字架による救い

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。

マタイ 27・46

ちく
目標

身代わりの十字架の意味を知り、キリストを信じて救いを得る。

3月25日(日)

せいしよ
聖書
せいじく
聖句

マタイ 27・45～56

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 46節

今年も受難週を迎えました。復活祭は4月1日です。その準備のようにして、今週、イエス様の十字架の上の七言を暗誦し、心に刻みつけましょう。一つ一つのみ言葉が「わたしのため」と思っ

て味わいましょう。きょうのみ言葉は第四言で、ちょうど真ん中の、まさに中心的なものです。わたしや全人類の罪とのろいを本当に背負われたイエス様が、身代わりに神様から完全に捨てられてくださった、その証拠のようなみ言葉です。

いの祈り 天のお父様、わたしに代わって捨てられてくださった主を感謝いたします。捨てられない者としてくださり感謝感激です。

3月26日(月)

せいしよ
聖書
せいじく
聖句

ルカ 23・32～38

父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。 34節

第一言です。十字架のふもととは、罪と汚れと、自己中心とねたみとの渦でした。イエス様をあざけったり、罵ったり、つばきをかけたり、また、イエス様の衣をくじ引きで奪い合ったりと、底のないような人間の醜い姿です。そこから少し高い、血にまみれた十字架の上に、身代わりについてくださった神の御子イエス様の愛にあふれた清いとりなしの祈りです。「何をしているのか、わからずにいるのです」と完全なパーフェクトなゆるしのお祈りです。

いの祈り 天のお父様、イエス様のこの命をかけたとりなしのお祈りで、罪ゆるされ、救われ神の子としてくださり感謝です。

3月27日(火)

せいしよ
聖書
せいじく
聖句

ルカ 23・39～43

あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。 43節

第二言です。なんと、十字架のふもとだけでなく、イエス様の両側の十字架につけられた強盗たちさえも、イエス様に悪口を言い続けました。「お前が神の子なら、そこから降りて、われわれも救え！」って。ところが、片方の人の心が変わったのです。きっと、あのとりなしのお祈りを聞いて、神の愛に打たれたのです。「み国の権威をもって来られる時、どうぞわたしを思い出してください」との彼の言葉に、第二言のみ言葉が語られました。

いの祈り 天のお父様、全人類はイエス様の十字架で右と左の二つに分けられます。あなたを信じてパラダイスに行かせてください。

3月28日（水）



ヨハネ 19・23～27

「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」。…「ごらんなさい。これはあなたの母です」。 26～27節

第三言です。十字架のふもとにいた母マリヤ。その心はきつと張り裂けるような痛みでいっぱいだったでしょう。かつてシメオンが預言して言いました。「あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう」と。本当にその通りでした。その横に立つ愛弟子ヨハネと共に見ながら、母マリヤをヨハネにおゆだねします。その時からヨハネはマリヤの面倒を見るのです。十字架、神の愛のあらわれ、その十字架を中心に、神の愛の家族が誕生するのです。苦しみの中の主の思いやりです。

いの祈り

天のお父様、イエス様の十字架の愛によって結ばれた、新しい人間関係、神の家族を感謝します。祝してください。

3月29日（木）



ヨハネ 19・28～30

わたしは、かわく。

28節

第五言です。去年の夏もとても暑くて、よくのどが渴いたことでしょう。肉体のかわきは、十字架の上では、本当に大変なものだったと思います。イエス様がわたしに代わって、これほどの苦しみと渴きを味わってくださいました。何かをもってイエス様の渴きを潤してさしあげたいですね。イエス様は、わたしたちの愛に渴いておられます。わたしたちの清さに渴いておられます。救われる魂がつづいて与えられるよう渴いておられるのです。

いの祈り

天のお父様、小さいわたしたちももっと聖書を読んだり、お祈りして、イエス様を愛する子どもにしてください。

3月30日（金）



ヨハネ 19・28～30

すべてが終った。

30節

第六言です。とても短いみ言葉ですが、とても力ある、勝利の叫びなのです。「完全になしとげました！」「完了しました！」「完成しました！」というみ言葉です。何になしとげられたのでしょうか？ わたしたち一人ひとりを、そして全人類を、罪から救う道、永遠の滅びから完全に救う「あがない」のみわざがなしとげられたのです！誰でも十字架のイエス様を信じるだけですべての罪がゆるされ、永遠の命が与えられる素晴らしいあがないの完成です。

いの祈り

天のお父様、どの国の人にも、どの時代の人にも、信じるすべての人が救われるあがないの完成。ハレルヤです！

3月31日（土）



ルカ 23・44～49

父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます。

46節

第七言です。父なる神様からの地上での使命、十字架によるあがないの務めをみごとに果たして、十字架上で言われた最後のみ言葉です。静かに、平安な思いで、「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」と。

地上での最後の時を、自分がいつ、どこで、どのように迎えるのかは、だれにもわかりません。年をとってから死ぬというわけでもないですね。でもイエス様を信じているなら、いつでもどこでもこの祈りで心安らかに主のみもとへ行けますね。

いの祈り

天のお父様、イエス様はすべての面でわたしたちのお手本です。しっかりとつながって光の中を共に歩んでいきます。